

小学校10校のエアコン設置へ設計費用

2020年夏からの利用めざす。中学校は後に。



江南市議会臨時議会が8月20日に開催されます。8月8日、議会運営委員会が開催され提出予定議案が発表されました。

提出予定の補正予算には、①市内全小学校の普通教室にエアコンを設置するための設計費用3,071万6千円 ②危険な個人宅ブロック塀の取り壊し費用への助成費200万円が盛り込まれました。詳細は予算審議を通して明らかにしていきます。

危険な猛暑から子どもの命と健康を守れ

豊田市の小学生が授業活動で死亡するという衝撃的な出来事がきっかけとなって、猛暑から子どもの命と健康を守るために、学校の普通教室にエアコンが必要との声が吹き出しています。

猛暑の3階教室では室温が37℃にもなって勉強どころではなく、エアコンのある特別教室などに避難して切り抜けるところも。ある小学校では夏休み前、熱中症の疑いで、子どもたちが一日に10人以上も保健室に来る日が続いたそうです。

小中学校のエアコン設置率は全国平均で約50%。近隣市町の状況は、設置済みの小牧市や大口町、計画的に設置が進む扶桑町、工事中の一宮市、設置予定がある岩倉市や犬山市となっており、計画がないのは江南市だけとなっていました。

日本共産党議員団は、不要不急の予算を削って財源を確保し、来年夏に間に合うよう、エアコンの設置を求めています。今回の補正予算では、設計費は小学校10校分。中学校分はありません。またエアコン設置工事は、国補助金の交付を見込んで行い、再来年の夏から利用できるようにしたいとしています。

国補助金の増額を 愛知県は財政力にふさわしく市町に補助を

エアコン設置が遅れているのは、国が補助金（学校施設環境改善交付金）を地方自治体に必要な額を交付していないことが根本的な原因です。

6000億円もかける不要な陸上型迎撃ミサイルなど高額な兵器を購入する軍事予算があったら、小中学校にエアコンを設置する補助金に当てるべきです。日本共産党は、国補助金の増額予算措置、愛知県の豊かな財政力にふさわしい県独自の補助を求めています。

個人宅ブロック塀取り壊しにも助成 限度額20万円、工事済みも対象に

臨時議会には、公道や公共施設に面した個人や法人所有の危険なブロック塀の撤去費用に助成する補正予算200万円が計上されます。

限度額は20万円。大阪北部地震後すでに取り壊したブロック塀も遡って助成対象とします。日本共産党議員団は、個人宅のブロック塀の撤去にも補助制度を作ること要求していました。

7月20日の臨時議会では、小中学校や保育園など18



撤去される市役所北側のブロック塀

箇所の公共施設のブロック塀の撤去とフェンス設置費用1億3,610万円の補正予算を全会一致で可決しました。

小中学校のプール囲いのブロック塀には、アスベストを含む古い吹

付け塗料が使用されている可能性が大きく、調査結果を踏まえアスベスト対応の撤去作業も必要となります。その場合の処理費用として3,600万円を見込んでいます。

その他の西庁舎、消防署、水道局などにあるブロック塀の撤去費用は、9月議会で提案される予定です。

すべての生活保護利用者に エアコン購入費の支給を

異常な猛暑は収まる気配がなく、熱中症で亡くなる人や救急搬送される人が相次いでいます。

今年7月、厚労省は新しく生活保護開始となった世帯で一定の条件を満たす場合、5万円を限度としてエアコン購入費用を支給する通知を出しました。

しかし、以前からの生活保護利用でエアコンが未設置の世帯には支給されません。県社会福祉協議会から福祉資金を借りて、エアコンを購入し、保護費から返済することしか認められません。ギリギリの生活費を割いて分割払いにあてることは非常に困難です。

すべての生活保護利用者がエアコンを設置して猛暑から命・健康を守ることができるよう、厚労省通知の改正やエアコン購入費の助成が必要ではないでしょうか。



今年も、市主催の世界平和を願うパネル展が開催されました。(左)会場には、「ヒバクシャ国際署名」と、平和首長会議の「核兵器禁止条約の早期締結を求める署名」の2種類の署名用紙が置かれ、市民に協力が呼びかけられました。